

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	教育旅行誘致事業			事業コード	1297
担当課等	所属名	商工観光部 観光課	担当係名		
	課長名	村山悦男	担当者名	伊勢 賢二	電話番号

1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	活力ある産業の振興	コード 5	施策	地域資源をいかした観光・物産の振興	コード 4
	基本事業	観光地づくりと観光客の誘致	コード 1	関連予算 費目名	一般会計 7款 1項 3目 教育旅行誘致事業(006-01)	
	特記事項					
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input checked="" type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度			⇒(開始年度 平成10年度～)		
事務事業の概要	「修学旅行自主研修ガイドマップ」の作成、教育旅行誘致説明会等への参加による誘客キャンペーン					
根拠法令等	なし					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
平成12年度に北海道札幌地区の中学校修学旅行に係る距離規制の緩和や、「総合的な学習の時間」が平成14年度から実施されたことにより、当市の持つ教育資源や観光資源をこれまで以上にPRし、教育旅行の誘致拡大により地域の活性化を図ることを目的として開始した。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
観光は裾野の広い産業であり、教育旅行を含めた一層の観光客誘致を関係団体や業界から期待されている。						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどうか。今後の見通しはどうか						
少子化による生徒数の減少や北海道の教育旅行の飛行機利用の拡大など、教育旅行誘致を取り巻く環境は当市にとって厳しい状況にある。今後はこれまで以上の誘致活動と関西方面からの新規の修学旅行を誘致することが必要となる。また、東日本大震災の影響により予約のキャンセルが相次いでいるため、関係団体と協力して対策を講じていく必要がある。						

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	修学旅行生徒・児童	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 修学旅行入込数(生徒・児童)	単位	人
				B.	単位	
				C.	単位	
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) 盛岡市修学旅行自主研修ガイドブックの作成 県主催の修学旅行誘致説明会への参加 自主研修生徒・児童への対応 23年度計画(23年度に計画している主な活動) 盛岡市修学旅行自主研修ガイドブックの作成 県主催の修学旅行誘致説明会への参加 自主研修生徒・児童への対応	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 修学旅行自主研修ガイドブック作成部数	単位	部
				B. 修学旅行誘致説明会参加回数	単位	回
				C.	単位	
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	県内外からの修学旅行等による入込数が、少子化の影響により減少傾向にあるなか、その影響を最小限に抑える。 修学旅行等で訪れた生徒・児童がリピーターになるよう受入環境の整備を図る。	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 修学旅行入込数(学校) 【指標の性格: <input checked="" type="radio"/> 上げる <input type="radio"/> 下げる <input type="radio"/> 維持する】	単位	校
				B. 【指標の性格: <input type="radio"/> 上げる <input type="radio"/> 下げる <input type="radio"/> 維持する】	単位	
				C. 【指標の性格: <input type="radio"/> 上げる <input type="radio"/> 下げる <input type="radio"/> 維持する】	単位	
⑦結果 (上位基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するか)	訪れてみたいと思ってもらう	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	アンケート調査「盛岡に行ってみたい、訪れてみたい」と思う割合(単位:%)		

3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由: 教育旅行の誘致拡大により地域経済への波及効果が大きいこと、将来のリピーターとしての観光客増の一因となるため。
	② 公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	理由: 観光振興及び事業効果(観光客の誘致拡大)が盛岡市の産業の多方面に波及するため。 ↳「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他
	③ 対象の妥当性 対象の設定は現状のままでいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくていいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	理由: 教育旅行の対象は児童、生徒及び学生であるため。 ↳「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他
	④ 意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	理由: 宿泊施設や市内循環バスなどの受け入れ態勢の整備が教育旅行の目的地としての魅力を高めることに繋がるため。 ↳「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input checked="" type="radio"/> その他
有効性評価	⑤ 成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 向上余地がない	その内容: 教育旅行の新規ルート(発地)の開拓
	⑥ 廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容: 盛岡市の知名度の低下、顧客の喪失、教育旅行先としてのイメージの低下。
	⑦ 類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 類似事業がある <input type="radio"/> 類似事業がない	事業名: 観光客誘致宣伝事業 ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input checked="" type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> できない その内容: 現時点での教育旅行先に限定せず、他の観光スポットとも連携を図ることにより、盛岡市が教育旅行の目的地として更に魅力が高まる。
効率性評価	⑧ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 自主研修ガイドマップを作成し配布することによりPRIに繋がるものであるし、入込数が増えれば必然的に作成部数も増やさねばならないため。
	⑨ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 既に必要最小限の人員で事業を行っているため。
公平性評価	⑩ 受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 事業効果が多方面に波及するため。
	⑪ 費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 教育旅行のツールを有料頒布することは、事業効果の減少を招く恐れがある。

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革／改善方向	<p>①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1, 代替案その2とすること 修学旅行誘致説明会へ効率的に参加し、盛岡市とその近郊をPRする。</p> <p>②改革, 改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか? それをどう克服していきますか? (関連部門や全庁的な調整の必要性, トップへの要望も含む) 修学旅行形態の変化に素早く対応できる誘致対策の検討が必要である。</p>
---------	---

5. 課長意見

一次評価	<p>(1)一次評価者としての評価結果</p> <p>① 必要性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり : ② 有効性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり : ③ 効率性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり : ④ 公平性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり :</p>	<p>(2)全体総括(振り返り, 反省点) 着実に成果があがっている。</p>							
今後の方向性と改革改善案	<p>(3)今後の事務の方向性(改革改善案)</p> <table border="1"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 終了</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 継続</td> <td rowspan="3"> <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 </td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止</td> <td><input type="checkbox"/> 休止</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>方向付けの理由と改革改善の内容</p> <p>広域観光団体との連携を強化するとともに、民間事業者との協力により、盛岡広域としての誘致活動を展開する。</p>		<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止		
<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携							
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止								